

「沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）」 パブリックコメントの結果

沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）についてパブリックコメントを実施しましたところ、市民の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただき、ありがとうございました。

皆様からいただきましたご意見・ご要望の概要と市の考え方・対応をお示しします。

ご意見・ご要望をいただきました皆様には深く感謝いたします。

○実施時期：平成 29 年 12 月 12 日（火）～平成 30 年 1 月 11 日（木）

○閲覧場所：市ホームページ，市役所（まちづくり政策課，広報広聴課），市内各市民窓口事務所
市立図書館

○提出者数：3 名

○意見数：6 件

沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）パブリックコメント		
番号	意見の概要	市の考え方・対応
1	<p>・自動車業界やGoogleなどのIT企業が2020年を目標にして、自動車の完全自動運転（レベル5）の実用化を目指しているが、本計画案には自動車の完全自動運転が実用化された視点での道路整備の在り方について触れられておらず、物足りない内容だと思う。</p> <p>・今後、人口は減る見通しであるが、自動運転が導入されると、交通弱者と言われる高齢者や年少者が気軽に自動車で出かけるようになれば、道路の需要は増え、また道路自体も自動運転に適した整備が必要となるかと思う。</p> <p>・従来の駅を基点とした交通体系の在り方（都市間は電車で移動し、市内は駅を中心に路線バスの公共交通が放射状に広がる）が崩れ、誰もが自宅から目的地まで直接移動する手段を持つようになると、公共交通自体が衰退し、コンパクトシティ構想とは逆の方向に街が形成される可能性も具備しておいた方がいいと思う。</p>	<p>○自動運転については、今後急速に普及していくことが予測されており、これに伴い“まちづくり”に対して大きな影響を与える可能性があります。</p> <p>自動運転は、一般的に人間による運転よりも安全かつ円滑な運転を可能とするものであり、この結果、交通事故の削減、交通渋滞の緩和、環境負荷の軽減、高齢者等の移動支援など、従来の道路交通社会の抱える課題の解決に資するものとなることが考えられます。</p> <p>自動運転については、官民 ITS 構想・ロードマップ等でその考え方が国から示されていますが、運転者のみならず社会としてどのように受け止めていくべきかについては、まだ十分な議論がなく、事故の責任問題、一般車と自動運転車の混在で生じる課題など、検討すべき課題も多いと考えられます。</p> <p>以上のことやいただいたご意見を踏まえ、道路整備を取巻く社会情勢の一つとして、“自動運転の実用化に向けた動き”、及び今後の取組みとして“自動運転に対応した道路整備”について記載します。</p>

沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）パブリックコメント

番号	意見の概要	市の考え方・対応
2	<p>・高校の学区制が廃止されて久しく、三島方面から沼津の高校に通学する高校生も多く、高校生の通学手段といえば今も昔も自転車ですが、朝の通学時間帯の旧 246 大岡駅前～長泉町本宿間、旧国 1 東下石田～清水町長沢間は、路肩幅が狭く大型トラックの横を自転車がすり抜けている状況であり、大変危険であり喫緊の課題だと思う。</p> <p>・例えば、三島駅から三島大社、清水町の柿田川湧水公園、狩野川の土手を経由して沼津港に出るような自転車ロードがあれば、普段は高校生の通学道路として使え、週末は首都圏から新幹線や高速バスでやってきた家族連れの観光客が三島駅前レンタルサイクルを借り、三島大社と湧水公園を回り、狩野川の土手をサイクリングしながら沼津港に出て食事して、沼津駅前レンタルサイクルを返却して帰っていくようなルートができれば、アクティビティとしての観光資源にもなり、沼津が不得意としている街中心部の回遊性の増大にも活かせるかと思う。</p> <p>・自転車ネットワークの整備については、市内完結ではなく、近隣市町（特に三島、長泉、清水町）との繋がりも踏まえた形の計画策定を望む。</p>	<p>○本市においては、市街地を中心に自転車を当事者とした交通事故が多く発生しており、また、郊外では伊豆市のオリンピック自転車競技の開催決定を契機に、海岸線の道路を利用するサイクリストも増えていることから、安全性の向上を目的に、安全で快適な自転車利用環境の整備を推進するため「沼津市自転車ネットワーク計画」を平成 29 年 11 月に策定したところです。</p> <p>本計画では、「だれもが安全・安心、快適に自転車を利用できる環境の創出」、「日常生活における自転車の利用促進」、「観光・地域資源を活用した自転車の利用促進」を基本方針に掲げ、自転車事故危険箇所や高校へのアクセス路線、また、観光施設へのアクセス路線等を踏まえて、自転車ネットワーク路線を選定し、その路線の整備形態を示した計画となっています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、広域交通ネットワークの考え方に広域観光を推進する周辺市町との連携について記載します。</p>
3	<p>・都市計画道路の完成には膨大な費用がかかり市民の負担が大きくなるため、財政面を考慮して見直しを行うべきである。既存道路の維持管理費が増加することを考えると新たな道路の整備を行う余地はないと思う。</p>	<p>○未着手の都市計画道路について、新たな道路整備への投資的経費の減少など道路整備を取り巻く社会情勢の変化や将来都市像の実現に的確に対応していたため、将来都市計画道路網を検証していくこととしました。</p> <p>見直すべき都市計画道路については見直しを行い、整備すべき都市計画道路は着実に整備を行い、都市計画道路網の早期形成を目指します。</p>

沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）パブリックコメント		
番号	意見の概要	市の考え方・対応
4	<p>・優先整備路線の選定の考え方に、道路周辺の住民の視点が欠けているように思われる。整備にあたり住民の合意が得られるかが重要であると思う。</p>	<p>○優先整備路線の選定については、本市が目指すべき将来都市像の実現や本市が抱える道路整備の課題解決に向け、優先的に整備すべき路線を選定することとしており、検証にあたりましては道路整備に対する住民ニーズを踏まえて実現性を検証していきます。</p> <p>また、来年度策定を予定している「整備方針」の策定にあたりましては、説明会やパブリックコメントを実施するなど、きめ細やかな情報提供に努め、住民の方々の意見を聴取していきます。</p>
5	<p>・大きな新規道路をこれ以上作る必要はない。しかし、既存道路をより安全に交通渋滞がなるべく少なくするために、道路形状や幅員など含め改善していくことは必要だと思う。</p> <p>・具体例として、国道414号の三園橋から三つ目ガードを潜り学園道路へ至る道であるが、三つ目ガードは地上高が改修されたというものの、道路幅員が狭くてカーブの曲率も小さく、大型車の事故が絶えない。また、大雨による冠水も生じている。高架化の目的の一つとして、ガードの整備もあるのだろうが、高架化しなくてもガード本体の間口を広げる工事など、幾らでも改善する方法はあると思う。</p>	<p>○未着手の都市計画道路を対象に、道路整備の4つの基本目標を踏まえて設定した検証項目に照らし、本市が目指すべき将来都市像の実現に向け今後も必要な都市計画道路の検証を行うことにより、優先整備路線として選定した路線については、着実に整備を推進していきます。</p> <p>○三つ目ガードにつきましては、ご意見のとおり幅員や線形等の要因により交通渋滞が生じ、本市の交通環境の課題となっています。</p> <p>本市は、鉄道が南北の市街地を分断していることから、三つ目ガードに限らず、あまねガード、のぼり道ガード、及び踏切が要因となり、日常的な交通渋滞が生じ都市活動の大きな障害となっているほか、中心市街地の発展にも大きな妨げとなっています。</p> <p>こうした課題を解決するために、鉄道高架事業をはじめとする沼津駅周辺総合整備事業により、交通の円滑化、歩行者・自転車の安全確保、南北市街地の一体化などを図っていきます。</p>

沼津市都市計画道路の整備に関する基本的な考え方（案）パブリックコメント

番号	意見の概要	市の考え方・対応
6	<p>・沼津駅前から沼津港へ向かって伸びる道、これが沼津のメインストリートとなるべきと考える。この道を中心に後世に誇れる文化都市たる沼津の構築を考えてみたらどうか。</p> <p>・具体的には、沼津図書館、明治資料館、郷土資料館（御用邸内）などをメインストリートに沿ってもしくは近隣にそれぞれ移築配置する。できれば、明治初期に取り壊されたという沼津城も規模は小さくてもいいので、街のシンボルとして復元する。</p>	<p>○当該道路は、都市拠点の中心である沼津駅と観光拠点である沼津港を結ぶ幹線道路であり、本市のまちづくりにおいて、拠点間の連携強化を図るための重要な道路であると認識しています。</p> <p>現在、中心市街地のまちづくりのビジョンを市民の皆様にわかりやすく示す「まちづくり戦略会議」を開催しており、中心市街地における道路の役割や位置付けを明確化した上で、都市の公共空間の再構築と沿道の土地利用について議論しているところです。</p> <p>このことから、「基本的な考え方」では、今後の取組みとして、魅力と活力ある都市形成に向けて、多様なニーズや地域の実情に対応した街路空間を創出していくため、街路空間の再構築を検討することとしています。</p>